

平成25年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年11月 8 日

上 場 会 社 名 株式会社リミックスポイント 上場取引所 東
 コー ド 番 号 3825 URL http://www.remixpoint.co.jp
 代 表 者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）高田 真吾
 問合せ先責任者 （役職名）経営管理部長 （氏名）佐藤 仁美 (TEL) 03 (6206) 2220
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月 9 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年 3 月期第 2 四半期の業績（平成24年 4 月 1 日～平成24年 9 月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年 3 月期第 2 四半期	130	35.4	△7	—	△8	—	△9	—
24年 3 月期第 2 四半期	96	—	△39	—	△3	—	24	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年 3 月期第 2 四半期	△202 14	—
24年 3 月期第 2 四半期	501 28	492 63

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年 3 月期第 2 四半期	163	52	32.1
24年 3 月期	184	62	33.9

（参考） 自己資本 25年 3 月期第 2 四半期 52百万円 24年 3 月期 62百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年 3 月期	—	0 00	—	0 00	0 00
25年 3 月期	—	0 00			
25年 3 月期(予想)			—	0 00	0 00

（注） 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3 月期の業績予想（平成24年 4 月 1 日～平成25年 3 月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	349	38.6	12	—	8	—	5	△70.0	105 93

（注） 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	48,191株	24年3月期	48,191株
25年3月期2Q	120株	24年3月期	120株
25年3月期2Q	48,071株	24年3月期2Q	48,071株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社は、平成24年11月29日（木）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、説明会開催後速やかに東京証券取引所ホームページ（東証上場会社情報サービス）に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要等により、緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、欧州の債務危機などを背景とした海外経済の減速や円高の長期化等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当第2四半期累計期間において当社は、当社の主力製品である業務用中古車査定アプリケーション「IES (Inspection Expert System)」の新モデルを8月1日に販売開始し、販路拡大のための販売促進を積極的に行い、今後の売上拡大に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間は、売上高は130百万円(前年同四半期比35.4%増)、営業損失7百万円(前年同四半期は営業損失39百万円)、経常損失8百万円(前年同四半期は経常損失3百万円)、四半期純損失9百万円(前年同四半期は四半期純利益24百万円)となりました。なお、当社は、ソフトウェア開発関連事業のみであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における資産合計は、163百万円となり、前事業年度末(184百万円)に比べ21百万円減少となりました。その主な要因は、現金及び預金30百万円、ソフトウェア仮勘定19百万円、売掛金4百万円の減少とソフトウェア39百万円の増加があったこと等によるものです。

負債合計は110百万円となり、前事業年度末(121百万円)に比べ11百万円減少となりました。その主な原因は、1年内償還予定の社債61百万円、未払法人税等2百万円、未払消費税等2百万円の減少と長期借入金41百万円、短期借入金9百万円、1年内返済予定の長期借入金8百万円の増加があったこと等によるものです。

なお、純資産は、52百万円となり、前事業年度末(62百万円)に比べ、10百万円の減少となりました。その主な要因は、四半期純損失の計上9百万円による利益剰余金9百万円の減少があったこと等によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間につきましては、平成24年5月11日に開示いたしました業績予想を本日修正いたしました。詳細については「業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

通期の業績予想につきましては、第3四半期以降の販路拡大のための販売促進費やトライアル環境の増設等のコスト増加を見込んでいることから、平成24年5月11日に開示しました通期業績に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は、前事業年度において当期純利益が計上されたものの、当第2四半期累計期間において営業損失7百万円、四半期純損失9百万円を計上しており、継続的かつ安定的な利益の計上に不確実性が認められることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社は当該状況を解消すべく、今後における業績拡大および収益確保に向け、当社の主力製品であります業務用中古車査定アプリケーション「IES (Inspection Expert System)」の製品ラインナップの拡充と積極的な販路の拡大に注力すると共に、これまでに引き続き徹底的なコスト削減に努めてまいります。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	107,475	76,768
売掛金	9,817	5,229
前払費用	7,052	7,035
未収入金	1,890	2
立替金	220	82
その他	317	—
貸倒引当金	△97	△60
流動資産合計	126,676	89,057
固定資産		
有形固定資産	9,263	8,348
無形固定資産		
ソフトウェア	4,527	43,981
ソフトウェア仮勘定	26,702	6,727
無形固定資産合計	31,230	50,708
投資その他の資産		
投資有価証券	1,507	1,080
長期前払費用	1,384	467
敷金及び保証金	5,682	4,871
固定化営業債権	0	0
固定化債権	88,346	86,525
出資金	—	50
貸倒引当金	△79,846	△78,025
投資その他の資産合計	17,074	14,968
固定資産合計	57,568	74,026
資産合計	184,245	163,083
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,051	3,280
1年内償還予定の社債	81,600	20,000
短期借入金	—	9,166
1年内返済予定の長期借入金	—	8,390
未払金	3,499	1,716
未払費用	12,885	12,832
未払法人税等	5,535	3,207
未払消費税等	4,405	1,407
預り金	4,348	4,449
その他	1,759	1,793
流動負債合計	118,086	66,244

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
固定負債		
長期借入金	—	41,610
その他	3,645	2,859
固定負債合計	3,645	44,469
負債合計	121,731	110,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	934,663	934,663
資本剰余金	854,663	854,663
利益剰余金	△1,708,321	△1,718,038
自己株式	△18,000	△18,000
株主資本合計	63,006	53,289
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△492	△920
評価・換算差額等合計	△492	△920
純資産合計	62,513	52,369
負債純資産合計	184,245	163,083

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	96,321	130,407
売上原価	41,191	64,999
売上総利益	55,130	65,407
販売費及び一般管理費	94,176	72,980
営業損失(△)	△39,046	△7,572
営業外収益		
受取利息	556	5
受取配当金	5	20
貸倒引当金戻入額	22,617	—
償却債権取立益	9,523	—
その他	5,031	—
営業外収益合計	37,734	26
営業外費用		
支払利息	2,209	950
支払手数料	440	—
営業外費用合計	2,649	950
経常損失(△)	△3,961	△8,497
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	29,278	—
特別利益合計	29,278	—
特別損失		
特別損失合計	—	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	25,317	△8,497
法人税、住民税及び事業税	1,220	1,220
法人税等合計	1,220	1,220
四半期純利益又は四半期純損失(△)	24,097	△9,717

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	25,317	△8,497
減価償却費	10,029	6,694
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24,078	△36
受取利息及び受取配当金	△561	△25
支払利息	2,209	950
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	—
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	△29,278	—
売上債権の増減額 (△は増加)	11,548	4,588
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,198	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	△691	△770
前受金の増減額 (△は減少)	△8,550	△43
その他	3,486	△2,620
小計	△8,371	240
利息及び配当金の受取額	24	25
利息の支払額	△2,190	△900
法人税等の還付額	—	5
法人税等の支払額	△2,441	△2,438
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,978	△3,068
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	△17,000	—
有形固定資産の取得による支出	△780	△622
無形固定資産の取得による支出	△8,496	△24,011
投資有価証券の売却による収入	0	—
子会社株式の売却による収入	0	—
敷金の回収による収入	20,740	186
出資金の払込による支出	—	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,535	△24,497
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	10,000
短期借入金の返済による支出	—	△834
長期借入れによる収入	—	50,000
社債の償還による支出	△64,800	△61,600
リース債務の返済による支出	△637	△707
株式の発行による支出	△23,152	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,589	△3,141
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△107,103	△30,707
現金及び現金同等物の期首残高	214,398	107,475
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	52,903	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	160,197	76,768

(4) 継続企業の前提に関する注記

当社は、前事業年度において当期純利益が計上されたものの、当第2四半期累計期間において営業損失7百万円、四半期純損失9百万円を計上しており、継続的かつ安定的な利益の計上に不確実性が認められることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社は当該状況を解消すべく、今後における業績拡大および収益確保に向け、当社の主力製品であります業務用中古車査定アプリケーション「IES (Inspection Expert System)」の製品ラインナップの拡充と積極的な販路の拡大に注力すると共に、これまでに引き続き徹底的なコスト削減に努めてまいります。

しかしながら、これらの対応策は実施途上にあり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期財務諸表は、継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期財務諸表に反映しておりません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第2四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。